

オオキンケイギクの一斉駆除活動と コアジサシの探鳥会を実施しました！

平成30年5月20日（日）午前9時30分から、西尾市（矢作川西尾緑地）と、碧南市（前浜町2丁目付近）の2ヵ所の矢作川河川敷において、特定外来生物*¹に指定されている「オオキンケイギク」*²の駆除活動を実施しました。

駆除活動は碧南市側では4年目で、西尾市側では2年目の活動でした。当日の天気は曇りでやや肌寒く、絶好の駆除活動日和の下、総勢68名が汗をかきながら駆除活動を実施しました。

活動には、企業、NPOだけでなく碧南高校科学部、ボランティア部の生徒らが多数参加し、地域の在来種を守るために、オオキンケイギクの駆除に積極的に取り組んでいただきました。駆除したオオキンケイギクは、碧南市側だけで760kgにも及び、昨年よりも320kgも多く、途中で用意したゴミ袋が足りなくなるというハプニングがありました。駆除活動終了前にはオオキンケイギクの花で真っ黄色だった河川敷の景色が、活動終了後には緑色に一変し、参加者の方々は活動の成果を目で見て実感することができました。

駆除活動終了後には、株式会社ジェイテクト田戸岬工場敷地内にある、コアジサシ*³の営巣地へ移動し、抱卵中のコアジサシを観察しました。現場では本協議会の高橋副会長から、コアジサシがはるばる南半球から数千キロの道のりを渡って日本にやってくる、夏にしか見られない希少な鳥で、営巣地の減少によりその数が減っていることの説明がありました。また、株式会社ジェイテクト環境部の吉田部長からは、ジェイテクトがコアジサシの営巣地を守るために行っている活動の紹介があり、昨年度コアジサシが作った「巣」の模型を見せていただきました。

参加者は、西三河野鳥の会が用意してくださった望遠鏡や双眼鏡を通して、抱卵するコアジサシをじっくりと観察することができ、この貴重な営巣地を守っていくことの大切さについて学ぶことができました。

*1：特定外来生物

環境省ホームページ <https://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/law.html>
をご参照ください。

*2：オオキンケイギク

*3：コアジサシ

} 別紙をご覧ください

No. 2 活動状況

| 写 真 | 内 容 |
|---|--|
|  | <p>行事名：オオキンケイギク一斉駆除活動</p> <p>日時：平成30年5月20日(日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (矢作川西尾緑地)</p> <p>参加者数：68名</p> |
|  | <p>行事名：オオキンケイギク一斉駆除活動</p> <p>日時：平成30年5月20日(日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (矢作川西尾緑地)</p> <p>参加者数：68名</p> |
|  | <p>行事名：オオキンケイギク一斉駆除活動</p> <p>日時：平成30年5月20日(日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (矢作川西尾緑地)</p> <p>参加者数：68名</p> |

No. 2-1. 活動状況

| 写 真 | 内 容 |
|---|--|
|  | <p>行事名：オオキンケイギク 一斉駆除活動</p> <p>日時：平成30年5月20日(日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (碧南市前浜町付近)</p> <p>参加者数：68名</p> |
|  | <p>行事名：オオキンケイギク 一斉駆除活動</p> <p>日時：平成30年5月20日(日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (碧南市前浜町付近)</p> <p>参加者数：68名</p> |
|  | <p>行事名：オオキンケイギク 一斉駆除活動</p> <p>日時：平成30年5月20日(日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (碧南市前浜町付近)</p> <p>参加者数：68名</p> |

No. 2 活動状況

| 写 真 | 内 容 |
|---|--|
|  | <p>行事名：コアジサシ探鳥会 日時：平成30年5月20日(日) 場所：ジェイテクト田戸岬工場敷地内</p> <p>参加者数：31名</p> |
|  | <p>行事名：コアジサシ探鳥会 日時：平成30年5月20日(日) 場所：ジェイテクト田戸岬工場敷地内</p> <p>参加者数：31名</p> |
|  | <p>行事名：コアジサシ探鳥会 日時：平成30年5月20日(日) 場所：ジェイテクト田戸岬工場敷地内</p> <p>参加者数：31名</p> |